

障がい者基本計画等の策定に係る関係団体ヒアリング意見一覧

(順不同, 敬称略)

| 団 体 名 | 団体からの意見 |
|-----------------------|--|
| 加古川市身体障害者福祉協会 (身体) | <p>【差別解消促進】 健常者と障がい者がともにグランドゴルフをしているが、公園のトイレが古く、障がい者が利用しにくいため改善してほしい。</p> <p>【安全・安心な生活環境】 2018年度に助成制度ができてありがたい。手すりや階段の高さを1/2程度にする器具があるが、助成の対象に加えてもらいたい。</p> <p>【防災・防犯等】 災害等避難体制について、「避難行動要支援者登録兼同意確認票」を提出したが、その後特に連絡がない。いざ災害時に助けてもらうとなっても顔がわからなければ不安である。</p> <p>【文化芸術活動・スポーツ等の振興】 市内の近くでスポーツ（練習）ができる場所が欲しい。同じ障害のある者同士集まれる場所が欲しい。</p> <p>【障害福祉サービスについて】 医療的ケア児支援センターの施設とともに、65歳以上の方の支援センターも必要である。</p> <p>【その他】 デイサービス、一部の病院等では、送迎があるようだが、有料でもよいので、障がい者へドア to ドアのサービスを提供してほしい。</p> |
| 加古川市視覚障害者福祉協会 (身体) | <p>【安全・安心な生活環境】 公共交通機関の路線の廃止が無いように鉄道バス会社に対して指導してほしい。そのための予算が必要であれ確保してもらいたい。 加古川駅の構内に入ったりした際に北と南が分かるように音を使い分けて知らせてほしい。</p> <p>【情報アクセシビリティ及び意思疎通支援】 様々な分野での学習会などの学びの場をつくっているので、加古川市でも積極的に学習の場を作ってくれば、自分たちも積極的に頑張ろうという気持ちになると思う。</p> <p>【防災、防犯等】 ハザードマップの作成には、市に任せるだけでなく、視覚障がいのある当事者が作成に携わるなど当事者目線が大切である。</p> |

| 団 体 名 | 団体からの意見 |
|-----------------------|--|
| 加古川市視覚障害者福祉協会 (身体) | <p>【生活支援・意思決定支援】 物価高騰のあおりを受けて、福祉用具も値上がりしており、日常生活用具や補装具の支給額が、実情と合わなくなっている。自己負担が生じているので、早急に改善してほしい。 日常生活用具の支給対象の等級要件を緩和してほしい。</p> <p>【教育の振興】 最初から一括してインクルーシブ教育とせず、子どもの状況に合わせて、最終的にインクルーシブ教育を目指せばよいと思う。</p> <p>【スポーツ等の振興】 市内において、視覚障がい者スポーツが衰退しているため、健全者と混合チームの結成や、福祉学習の一環として視覚障がい者スポーツの振興につなげたい。</p> <p>【障害福祉サービス】 重度視覚障がい者に対するサービスはおおむね良好ではあるが、軽度弱視者のサービスが少し不足しているように思う。</p> <p>【市が取り組むべき施策】 市のホームページについて、視覚障がい者にとっては活用しにくいので、電話案内のような、ホームページの情報が電話で取得できる機能などがあれば良い。 団体として相談支援ができておらず、まずは軽度の方から悩みを聴く団体であることが求められていると考えている。市としても相談支援に力を入れていただきたい。</p> |
| 加古川ろうあ協会 (身体) | <p>【安心・安全な生活環境】 電話リレーサービスを使うためにも、公民館や病院、公共機関にフリーWi-Fiを増やしてほしい。 安心ボタン（合図くん）を年齢関係なく独居者に配布してほしい。</p> <p>【防災・防犯等】 電話リレーサービスの利用において、夜間の緊急利用時等で通話者が来るまでの間にうまく活用できればありがたい。 緊急や災害時に文字情報を取得するため、公的機関や福祉避難所に聴覚障害者用情報受信装置を設置してほしい。</p> |

| 団 体 名 | 団体からの意見 |
|-------------------------------|--|
| 加古川中途失聴・難聴者協会 (身体) | <p>【安全・安心な生活環境】 映画など、あらゆる環境のなかで字幕表示されることを願う。</p> <p>【防災、防犯等】 失聴者や難聴者はどうしても情報不足になるため、町内会でも注意を払っていただき、必要な情報はメモ書きをポストに投函するなど情報提供してほしい。</p> <p>【スポーツ振興】 イベントやスポーツの練習ができる場所の周知や障がい者が参加できるイベントを増やすことで、情報発信に代わる機会として欲しい。</p> <p>【市が取り組むべき施策】 手話言語は世間に広まっているが、要約筆記のことはあまり知られていないため難聴者、中途失聴者、要約筆記のPRをお願いしたい。</p> |
| 加古川市肢体不自由児(者) 父母の会 (身体) | <p>【安全・安心な生活環境】 障がい者駐車スペースについて、駐車場から市役所まで屋根がなく、雨が降ると機器が故障する心配があるため、屋根を設置するか、駐車するまでの間に子どもを玄関で見守りをしてくれるとありがたい。 多目的トイレについて、市役所や公共施設にあるものは赤ちゃん用のベッドしかなく、体の大きい障がい児者がおむつ交換や着替えの時に使えるベッドがなくて困るので、ユニバーサルシートの設置をしてもらいたい。トイレの改修が難しい場合は救護室又は休憩室等を利用させてもらうなど柔軟な対応をお願いしたい。 優先エレベーターはすぐ満員になり、乗れずに長時間待つことも度々ある。混んでいるときには、できるだけ最少人数で利用するように気を配るなど「心のバリアフリー」を醸成するような広報活動などをしてもらいたい。</p> <p>【防災、防犯等】 「避難行動要支援者登録兼同意確認票」に記入し提出したが、その後、民生委員の方が確認に来る地域もあるようだが、来ないところもあり地域差がある。 災害時、身体障がい児者に支援物資がスムーズに届くようなシステムの確立とプライバシー保護の観点から、避難所内に福祉スペースを確保・充実をお願いしたい。 福祉避難所として指定を受けている入所施設に関しては、入所者分の蓄電はあると思うが、災害時の受け入れ分も確保できるように市が負担するなど蓄えてほしい。 避難所開設の通知にて電源の確保状況なども表示されるようにしてほしい。</p> |

| 団 体 名 | 団体からの意見 |
|---------------------------|---|
| 加古川市肢体不自由児(者)父母の会 (身体) | <p>【日常生活用具】 日常生活用具の給付にて、蓄電池発電機を対象に追加していただき助かっているが、酸素ボンベについても夜間に使用している方もいるので対象に追加してほしい。 おむつの給付について、大人から子どもまで一律の給付ではなく、体の大きくなる高等部や成人は単価が高いため、年齢に応じた支給額や、メーカーの値上がりの影響もあるため、早急に支給額の増額をお願いしたい。</p> <p>【保健・医療】 障害者医療費助成制度の所得制限の撤廃。 こども療育センターについて、18歳までしか受診ができないが、小さいころから状態を見ていただいているという安心感があるため、18歳以降も月1回でもいいので通えるようにして欲しい。 病院によって年齢制限で他の病院へと転院を余儀なくされ、カルテだけ回されるのは不安で困るので、大人になっても安心した医療、看護、入院先等が確保されるような体制づくりをお願いしたい。</p> <p>【タクシー券】 ストレッチャーや車いすでは介護タクシーの利用が必要になるが、利用料金が高額なので、タクシーチケットの助成を受けても枚数制限により自己負担が大きくなる。介護タクシーのみ枚数制限の緩和や撤廃をお願いしたい。</p> |
| 加古川市手をつなぐ育成会 (知的) | <p>【タクシー券】 保護者の高齢化に伴い、移動手段の充実のため、タクシー券の利用制度を充実し、利用対象者の範囲を広げるか、枚数の制限を無くして欲しい。</p> <p>【情報アクセシビリティ】 ルビの表現だけでなく、高齢の保護者、本人にも容易な言葉で端的に表現してほしい。</p> <p>【防災、防犯等】 見守りタグを障害のある希望する人全員が使えるようにして欲しい。 避難行動要支援者にて、登録後は地域によって民生委員等の取り組みに違いがあるので、どこに住んでいても障がい者への理解を得られるように聴き取り調査や面談を実施してほしい。また、そのために行政と町内会との連携を強めて、お願いレベルだけでなく取り組むようにしてもらいたい。</p> <p>【行政等における配慮】 知的障がい者に向けて、わかりやすい言葉で選挙広報等も作成してもらいたい。 高齢化に伴って、親のみならず本人も高齢者福祉を利用する必要が出てくるので、制度利用への移行のタイミングなど利用状況に応じた指導や配慮をいただきたい。</p> |

| 団 体 名 | 団体からの意見 |
|----------------------|---|
| 加古川市手をつなぐ育成会 (知的) | <p>【スポーツ振興】 単発のスポーツ教室だけでなく、継続的なパラスポーツ等の開催を計画してほしい。</p> <p>【障害児通所支援】 事業所の数が増えているが、適切なサービスが行われているかしっかりと管理してほしい。</p> |
| 心のワークセンター (精神) | <p>【情報アクセシビリティ】 障がいのある方に対してのコミュニケーションが苦手な方が多いので、学校でコミュニケーションの技術・話し方を教える機会があればよいと思う。ただ、教える側にも技術が必要になる点が課題である。</p> <p>【生活支援・意思決定支援】 相談支援専門員が頻繁に変わるなどにより、支援に支障がでている場合がある。</p> <p>【雇用・就業、経済的自立の支援】 精神障がい者は、不安、不眠、孤立、孤独にならないようにしなければならない、また、長時間の作業には耐えられない。そのような特徴を知って、常に理解あるサポートが必要である。</p> <p>【スポーツ等の振興】 スポーツをすることによって活動的になり、症状の軽減にもつながるうえ、周囲との関係づくりにもなるため障がい者のスポーツを振興してほしい。</p> |
| ユアアイネットすぎな (精神) | <p>【権利擁護】 親によって福祉制度に関する情報取得への姿勢が異なるので、障がいのある子の親に対して様々な制度に関する案内を書面でしてほしい。</p> <p>【雇用・就業、経済的自立の支援】 B型・A型就労でそれなりにこなせる方は、1週間くらいの短期間でも一般就労の体験ができるような場でチャレンジできる機会を作してほしい。</p> |